

受付印

平成 年 月 日

※ 処理 事項	発信年月日		整理番号	事務所	管理番号	申告区分
	測定日印	確認印				

勝浦市長 宛て

所在地  (ふりがな)	(電話)	この申告の基礎	1. 法人税の平成 年 月 日 の修正申告書の提出による。				
			2. 法人税の平成 年 月 日 の更正・決定・再更正による				
法人名  (ふりがな)	(ふりがな)	事業種目	期末現在の資本金の額 又は出資金の額	兆	十億	百万	千
				一	一	一	一
代表者 氏名印	経理責任者 氏 名		期末現在の資本金の額及び 資本準備金の額の合算額	兆	十億	百万	千
				一	一	一	一
期 末 現 在 の 資 本 金 等 の 額				兆	十億	百万	千
				一	一	一	一
平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 までの 事業年度分又は の市町村民税の 由申書 *							

平成  年  月  日から平成  月  日  日までの  
事業年度分又は連結事業年度分

摘要

(使途秘匿金税額等) 法人税法の規定によって計算した法人税額	①	十億	百万	千	円			
試験研究費の額等に係る法人税額の特別控除額	②							
還付法人税額等の控除額	③							
退職年金等積立金に係る法人税額	④							
課税標準となる法人税額又は個別帰属法人税額及びその法人税割額 ① + ② - ③ + ④	⑤				0 0 0	十億	百万	千
2以上の市町村に事務所又は事業所を有する法人における課税標準 〔 $\frac{⑤}{②}$ × ②〕 となる法人税額又は個別帰属法人税額及びその法人税割額	⑥				0 0 0			
市町村民税の特別寄附金税額控除額	⑦							
外国の法人税等の額の控除額	⑧							
仮装経理に基づく法人税割額の控除額	⑨							
差引法人税割額 ⑤ - ⑦ - ⑧ - ⑨ 又は ⑥ - ⑦ - ⑧ - ⑨	⑩							0
既に納付の確定した当期分の法人税割額	⑪							0
租税条約の実施に係る法人税割額の控除額	⑫							
この申告により納付すべき法人税割額 ⑩ - ⑪ - ⑫	⑬							0
均等割額	算定期間中において事務所等を有していた月数	⑭	月	円 × $\frac{⑭}{12}$	⑮			0
	既に納付の確定した当期分の均等割額				⑯			0
	この申告により納付すべき均等割額 ⑮ - ⑯				⑰			0
	この申告により納付すべき市町村民税額 ⑬ + ⑰				⑱			0
	⑲のうち見込納付額				⑲			
差引	⑱ - ⑲				⑳			

### 東松山市内に所在する事務所、事業所又は寮等

名 称 事務所、事業所又は寮等の所在地

所在地	当該法人の全従業者数	左のうち東松山市 分の従業者数	右の税率適用区分 に用いる従業者数
	200	100	100
	300	150	150

合言

指 定 場 合 都 市 の に 申 の 告 計 す 算 る	区 名  ※ 区コード	月数  入	従業者数	均等割額  円 0	決算確定の日	平成 年 月 日	法人税の申告書の種類	青色・その他
					解散の日	平成 年 月 日	翌期の中間申告の要否	要・否
					残余財産の最後の分 配又は引渡しの日	平成 年 月 日		
					法人税の期末現在の資本金等の額 又は連結個別資本金等の額	円		
					この申告が 中間申告の 場合の計算期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで	法人税の申告 期限の延長の 処分の有無	有・無
						銀行		
					還付を受けよう とする金融機関 及び支払方法	口座番号(普通・当座)	十億	百万
					還付請求税額	千	百	十
					法第15条の4の徵収猶予を受けようとする税額			

關與稅理士  
署名 押印